

取扱説明書

保証書別添付

家庭用

日立浅深两用ポンプ

型式

〔单相〕^{シーエム} ^{ピー} ^{エックス} CM-P250X

CM-P400X

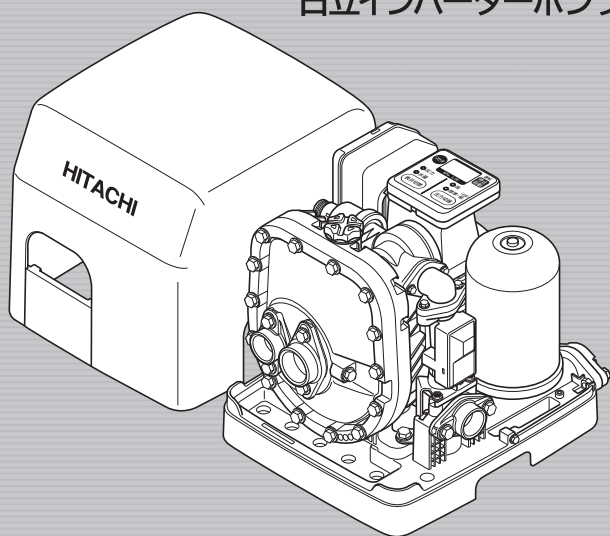
CM-P600X

〔3相〕^{シーエム} ^{ケー} ^{エックス} CM-K750X

浅深两用

つよし
スマート強くん

日立インバーターポンプ



このたびは日立ポンプをお買い上げいただき、
まことにありがとうございました。

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読み
になり、正しくご使用ください。

お読みになったあとは、保証書とともに大切に
に保存してください。

「安全上のご注意」→(P.4~6)をお読み
いただき、正しくご使用ください。

- 据え付けは専門工事が必要です。
販売店・工事店へ依頼し、お客様自身では行
わないでください。
- ご購入のポンプの型式確認は、ポンプカバーの
表示をご覧ください。

HITACHI
Inspire the Next

もくじ

ご使用の前に

各部のなまえ	2
操作パネルのはたらき	3
操作パネルの表示について	3
安全上のご注意	4
使用上のご注意	7

据え付け工事について [販売店様・工事店様用]

据え付け前の確認	8
据え付け時のご注意	9
配管工事について	10
ポンプと配管の接続	10
据え付け方法	11
配管の互換性について	12
ジェットの互換性について	12
前カバーの取り付けかた	12
横カバーの取り付けかた	12
配線工事について	13
アース線の接続と漏電遮断器について	13
電源電線について	13
試運転	14
試運転のしかた	14
運転状態の確認	15
運転のしかた	15
運転圧力について	15
数値表示の切り替えかた	16
運転圧力の切り替えかた	16
除菌器の接続について	17
結線について	17
カルキ量の調整について	17
防寒について	18
凍結防止策	18

こんなときは

お困りのときは	19
操作パネルにこんな表示が出たら	19
漏水を確認するときは	21
保証とアフターサービス	22

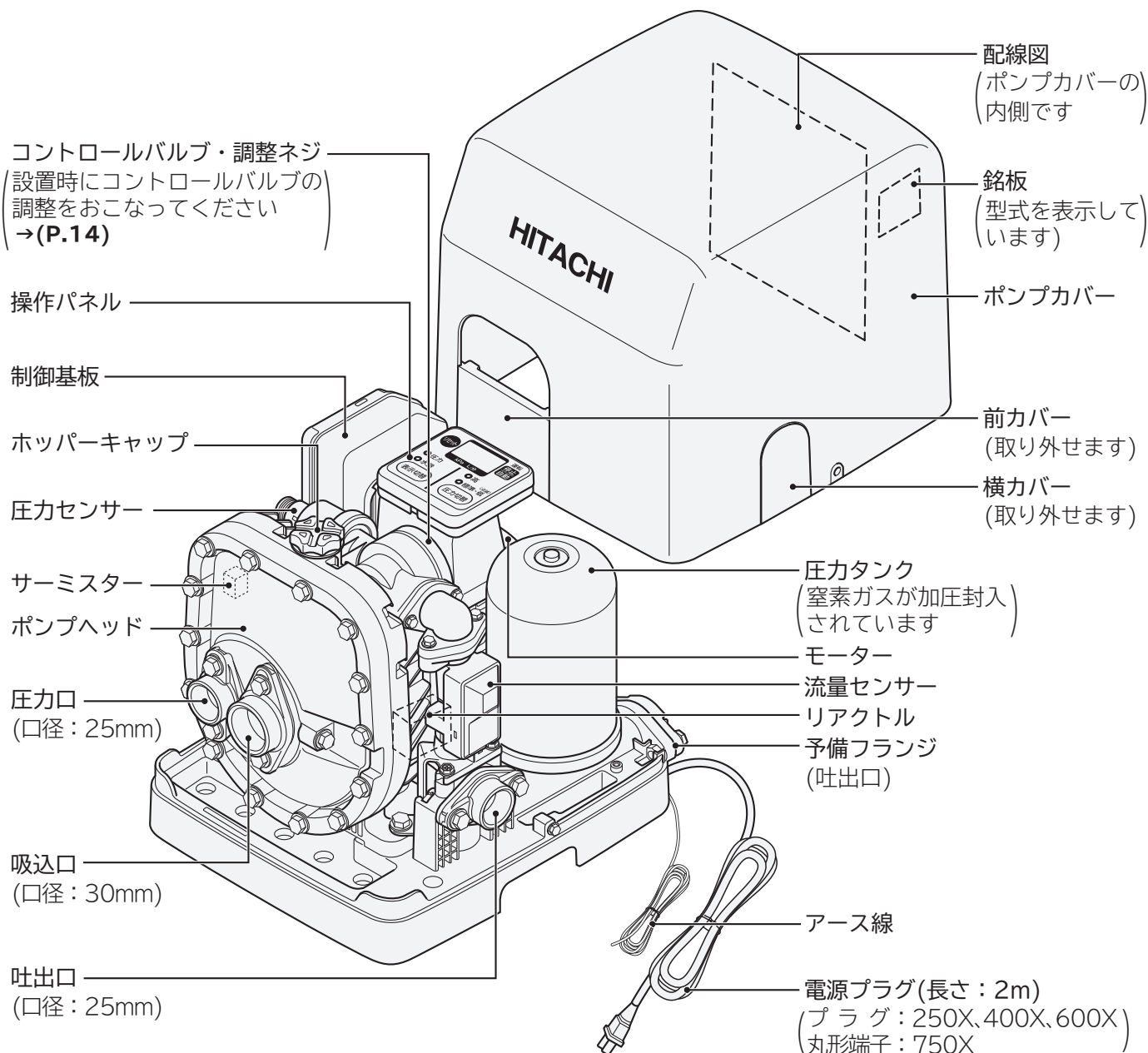
仕様

仕様	24
----	----

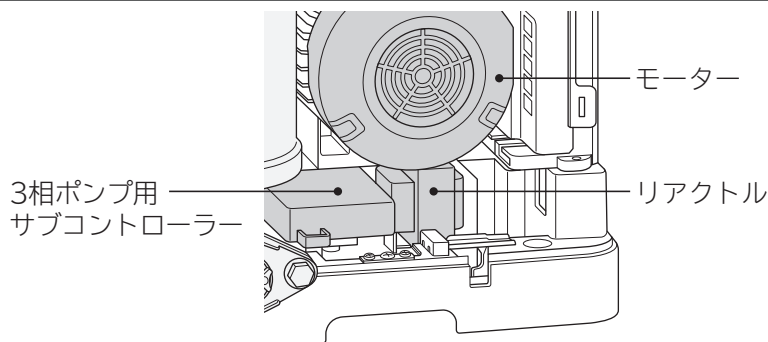
各部のなまえ

製品は検査の上お届けしておりますが、輸送中の振動などで破損や付属品の脱落などがある場合がありますので、念のため確認してください。

CM-P250X・CM-P400X・CM-P600X・CM-K750X



CM-K750Xの場合



ご注意

ポンプ開梱時、通水試験の残水がフランジより出ることがあります。

操作パネルのはたらき

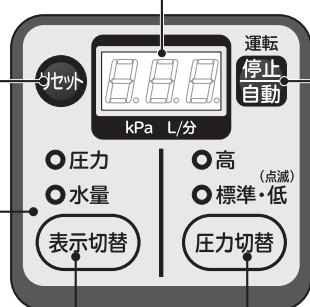
圧力表示・水量表示・お知らせ表示

通常は吐出圧力または吐出水量を表示します。

リセットボタン

お知らせ表示の解除などに使用します。

※保護シートを貼り付けています。
はがれても問題ありません。



停止／自動ボタン

ポンプ運転中に押すと **OFF** を表示し、ポンプが停止します。もう一度押すと、**ON** →機種コード(例: **25c**) →圧力または水量を表示し、運転を開始します。

表示切替ボタン

表示を切り替えるときに使用します。詳細は、「数値表示の切り替えかた」を参照してください。→(P.16)

圧力切替ボタン

圧力を切り替えるときに使用します。詳細は、「運転圧力の切り替えかた」を参照してください。→(P.16)

操作パネルの表示について

運転中の表示（数値表示は、約10分後に消灯します）

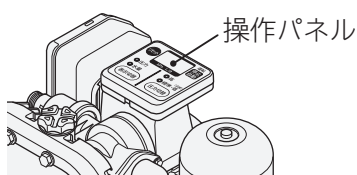
表 示			内 容
● 圧力	数値 点灯時	[例]	ポンプの吐出圧力を表示します。例えば のときは250kPaです。 モーターが停止している状態です。
		[例]	ポンプの吐出圧力を表示します。例えば のときは200kPaです。 モーターが回転している状態です。(右下にドット[.]表示あり)
● 水量	数値 点灯時	[例]	ポンプの吐出水量を表示します。例えば のときは0L/分です。 モーターが停止している状態です。
		[例]	ポンプの吐出水量を表示します。例えば のときは20L/分です。 モーターが回転している状態です。(右下にドット[.]表示あり)
● 圧力 または ● 水量	数値 消灯時		ポンプの電源が入っており、モーターが停止している状態です。 を押すと、吐出圧力表示または吐出水量表示に戻ります。
			ポンプの電源が入っており、モーターが回転している状態です。(右下にドット[.]表示あり) を押すと、吐出圧力表示または吐出水量表示に戻ります。

流量表示と 実流量の関係	表示	0	4 5 ... 80	8-
	流量(L/分)	0～3	4～80	

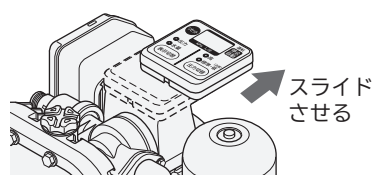
ご注意 空気吸い込みなどで流量センサー部に空気が混入していると、正常に流量が検知できない場合があります。深井戸ジェット使用時にコントロールバルブの調整を行っていない場合、正常に流量が検知できず、圧力が安定しないことがあります。コントロールバルブの調整を行ってください。→(P.14)

操作パネルについて（操作しにくいときは、取り外してご使用ください）

取り付け状態



取り外し方法



安全上のご注意

ご使用になる人や、ほかの人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを次のように説明しています。また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

■ここに示した注記事項は

表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

絵表示の例



「警告や注意を促す」内容のものです。



してはいけない「禁止」内容のものです。



実行していただく「指示」内容のものです。



警告

電源プラグや電源電線は



- 単相100V用ポンプは定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独で使う
三相200V用ポンプは定格15A以上の電源ブレーカーを単独で使う

- 電源プラグを抜くときは、きちんと電源プラグを持って抜く

感電やショートして発火することがあります。

- 電源プラグの刃や、刃の取り付け面にほこりが付着している場合は乾いた布でよくふく
火災の原因になります。



- お手入れの際や長期間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜くか、ブレーカーを切る

感電やけがの原因になります。



- ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

感電の原因になります。

- 傷んだ電源電線や電源プラグ、緩んだコンセントは使用しない

感電・ショート・発火の原因になります。

- 電源プラグは根元まで差し込む

感電やショートして発火することがあります。

- 電源電線を傷つけない

【傷つけ・加工・無理な曲げ・引っ張り・ねじり・重いものを載せる・挟み込む・たばねるなどしない】
電源電線が破損し、発煙・発火の原因になります。

- テーブルタップによるタコ足配線はしない

発煙・発火の原因になります。

- 延長コードは使用しない

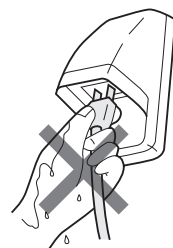
過熱し、発煙・発火の恐れがあります。

- 子どもだけで使わせない

- 電源プラグ、電源コードを水につけたり、水をかけたりしない

- 電源プラグを水につけた場合は使用しない

漏電や感電、故障の原因になります。



警告

配線・アース線は



配線工事は電気設備技術基準や、内線規程に従って、安全に行う

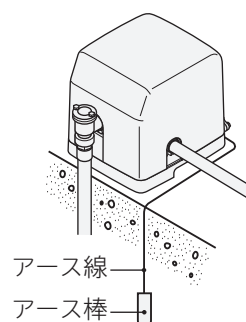
誤った配線工事は、感電や火災の恐れがあります。



アース線を取り付け、専用の漏電遮断器を設置する

アース線を取り付けないと漏電のとき感電することがあります。

アースの取り付けは、電気工事店または販売店にご相談ください。



その他



ポンプを水道管に直接配管しない

この取扱説明書のポンプを水道管に直接配管することは、法律で禁止されています。



動かなくなったり、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常がある場合は、事故防止のためすぐに電源プラグをコンセントから抜くか、ブレーカーを切って、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼する

感電や漏電・ショートによる火災の恐れがあります。



分解したり、修理・改造しない

火災・感電・けがの原因になります。(修理は販売店などにご相談ください)



●ポンプに毛布や布などをかぶせたり、ポンプ内部に物を入れない

過熱による発煙・発火の原因になります。

●ポンプカバーを外したまま使用しない

雨やほこりにより絶縁劣化して、感電や火災の恐れがあります。

※ポンプカバーを取り付ける際は、電源電線およびアース線を

挟み込んで傷つけないように注意してください。

●製品が包装されているビニール袋をかぶらない

窒息の恐れがあります。

本体の近くには



●引火物の近くには設置しない〔灯油・ガソリンタンクなど〕

爆発や火災の恐れがあります。

設置距離など、各都道府県の条例をご確認ください。

●可燃物の上には設置しない〔木材・段ボールなど〕

火災の恐れがあります。

●ローソク、蚊取り線香、たばこなどの火気を近付けない

火災の恐れがあります。

●ポンプ本体には、磁石などの磁気を帯びたものを近付けない

誤動作することがあります。

安全上のご注意(続き)

⚠ 注意

運転前後、運転中は

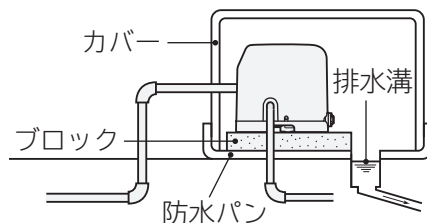


- モーター、制御基板に触れない
高温になっていますので、やけどの原因になります。
- 空運転(水源に水のない状態での運転)はしない
ポンプ内の水が熱湯になり、やけど、故障の原因になります。
- コンセントを抜いた状態でも、操作パネルの表示が消えるまで
制御基板には触れない
感電の原因になります。

そのほか



- ポンプの上に物を載せたり、人が乗ったりしない
変形、脱落により、けがをする恐れがあります。
- 防水処理、排水処理されていない床面に設置しない
水漏れが起きた場合、大きな被害につながる恐れがあります。
※床面が防水処理・排水処理されていない場合の水漏れ被害については責任を負えません。
※ポンプの寿命などで水漏れを起こした場合、発見が遅れると周囲が水浸しになり、
大きな補償問題になる場合があります。



- 清水以外の液体や温水(40℃以上)には使用しない
破損により、けがや感電の恐れがあります。
 - 標高の高い場所には設置しない
揚水量低下の恐れがあります。
 - 発電機での電源供給や、車両、船舶での使用はしない
電力が安定せずに、正常なポンプの運転ができません。
 - 他社の除菌器は結線、接続しない
ポンプコントローラー故障の原因になります。
- 製品の取り扱い時は、手袋をして作業を行う
けが防止のためです。
- 据え付けは、お買い上げの販売店、または専門業者に依頼する
ご自分で据え付け工事をされ、不備があると、水漏れや感電・火災の原因になります。
- 飲用水として使用する場合は、水質検査を実施する
飲用水として使用する場合は、保健所の指示に基づき水質検査を実施してください。
水質によっては健康を損なう原因となります。
- 制御基板や圧力センサーなどをつかんで運んだり、本体を引きずって運んだりしない
故障の原因になります。

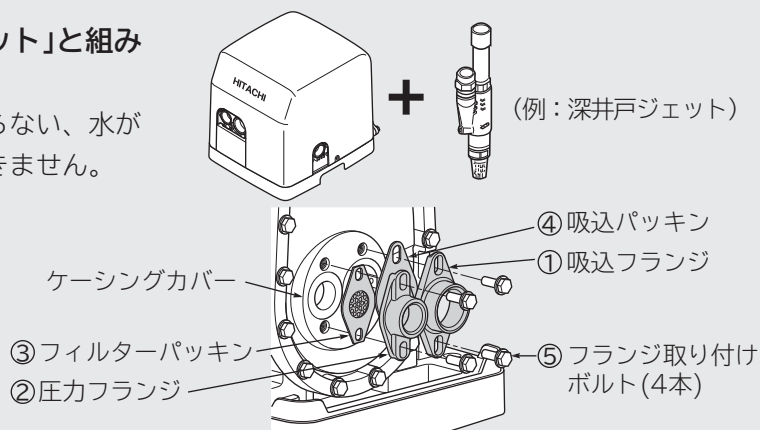
使用上のご注意

■別売りの「標準ジェット」「深井戸ジェット」と組み合わせて使用する

ジェットを使用しないと、呼び水がたまらない、水が上がらないなど、ポンプが正常に運転できません。

■取り外した部品は捨てないで保管する

水位の変化により「標準ジェット」から「深井戸ジェット」に取り替える場合に使用します。



■運転中は電源プラグを抜かない

故障の原因になりますので、**停止自動** を押し、ポンプを **OFF** にしてから電源プラグを抜くかブレーカーを切ってください。

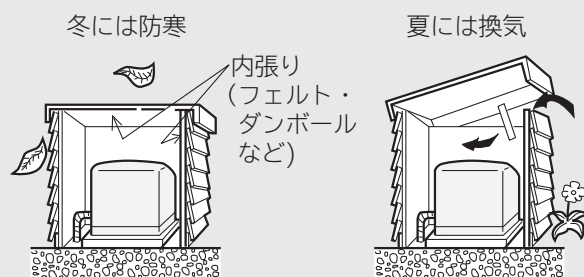
■テレビやラジオなどの電子機器を近付けない

テレビ画面の乱れや、ラジオ・テレビの雑音の原因になります。

■冬期には凍結防止策を行う

凍結による破損事故については責任を負えません。

凍結防止対策を行ってください。→(P.18)



■長期間水を使用しなかった場合は、しばらく通水し、きれいな水になってから使用する

■配管の凍結防止を目的として、水栓から少量の水を流し続けることはしない

少量の水を流し続けると、ポンプの運転・停止がひん繁になり、寿命を縮める原因になります。

■長期間使用しない場合は水抜きをする

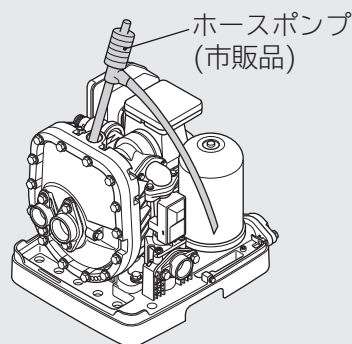
電源プラグをコンセントから抜いている場合、ポンプの凍結防止機能→(P.18)が作動せず、ポンプヘッド部が凍結し、破損する恐れがあります。

下記の手順で水抜きを行ってください。

再びご使用されるときは、呼び水を入れてから運転してください。→(P.14)

ポンプの水抜きのしかた

- 1 **停止自動** を押し、ポンプを **OFF** にする
- 2 電源プラグを抜くか、ブレーカーを切る
- 3 吐出側の水栓を開き、圧力を逃す
- 4 ホッパーキャップを外し、ホースポンプ(市販品)を奥まで差し込み、水を抜く
- 5 水が抜けたら、ホッパーキャップを取り付ける



据え付け工事について

(販売店様・工事店様用)

【工事をされる方へのお願い】

- 据え付けは専門工事が必要です。販売店・工事店へ依頼し、お客様自身では行わないでください。
- 製品機能が十分発揮できるように、この「据え付け工事について」の内容に沿って正しく取り付けてください。
- 据え付け後は試運転を行い、水漏れや運転状態に異常がないか確認してください。

据え付け前の確認

1 井戸の深さを調査する

このポンプの吸上高さは、→(P.9、10)になります。
湧水時のことも考慮して正確に測定してください。

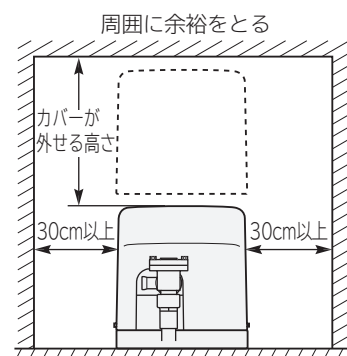
2 電源を確認する

使用するポンプの電源と合っているか確認してください。

250X, 400X, 600X……単相100V
750X………3相200V

3 据え付け場所を確認する

- 点検・修理のしやすい場所を選んでください。
- ポンプはできるだけ井戸の近くに取り付けてください。
(横引き10mは吸上高さ1m分の抵抗に相当します)
- 吸上高さは、湧水時の水位低下を考えて決めてください。
- 配管や水栓の抵抗、ガス湯沸器やシャワーなどの必要最小圧力を考慮して、器具や水栓の取り付け位置(高さ)を決めてください。

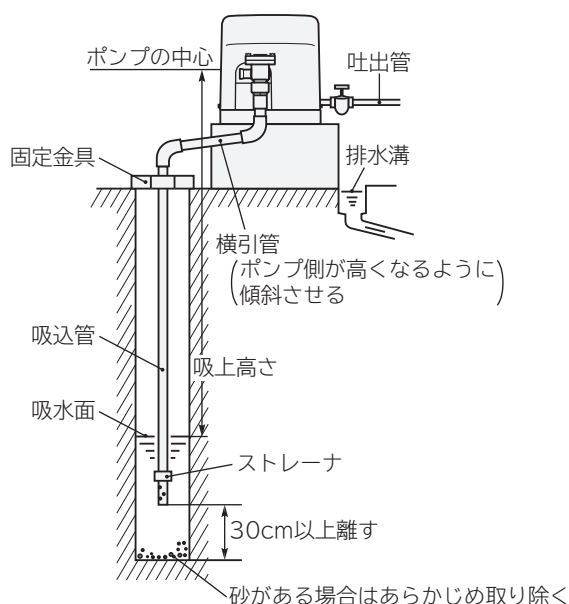


4 ほかの機器との組み合わせについて

除鉄・除菌システム、除菌器および浄水器と組み合わせる場合は、各器の耐水圧仕様を確認してください。ポンプの停止圧が耐水圧を超える場合は、減圧弁(市販品)を使用し、過大圧力が加わらないようにしてください。

5 井戸の砂を確認する

- 新しく井戸を掘られた場合は、あらかじめ井戸の砂を十分取り除いてから配管してください。
- 砂が多い場合は、別売りの「砂こし器」を取り付けてください。→(P.9)



据え付け時のご注意

⚠ 注意



防水処理・排水処理されていない床面に設置しない

水漏れが起きた場合、大きな被害につながる恐れがあります。
防水パン・カバーなどで、吹き出した水が排水できるようにしてください。

※カバーは風通しがよい構造にしてください。

※床面が防水処理・排水処理されていない場合の水漏れ被害については責任を負えません。

■できるだけ風雨や直射日光が当たらないところに据え付ける

製品を長持ちさせるため、屋外に据え付けるときは、ポンプ小屋を作ってください。

■水平に設置し、動かないようアンカーボルトで固定する

基礎は沈下を防ぐために、コンクリートで作ることをおすすめします。

■吸込管を共有した2台以上の並列接続はしない

揚水量の減少や、ポンプが正常に動作しなくなる場合があります。

■ポンプの直列接続はしない

ポンプ内の水圧が上がり、水漏れする恐れがあります。

■給水面がポンプヘッドより高くなる時(押込揚程の時)は、2m以内に作る

●ウォーターハンマーなどにより、ポンプの部品が破損したり、漏水するのを防ぎます。

●吸込口の近くに仕切弁(ストップバルブ)を取り付けてください。
点検・修理の際に必要です。

■砂を吸い上げやすい井戸には、別売りの「砂こし器」を取り付ける

●砂こし器はポンプの吸込側に取り付けてください。

吐出側に取り付けると、砂こし器が水圧に耐えられず、水漏れする恐れがあります。

●ポンプヘッド部の砂かみや摩耗を防ぎます。

■市販の給水機器との組み合わせについて

●フラッシュバルブを使うと、いったん水が途切れますので使用は避けてください。

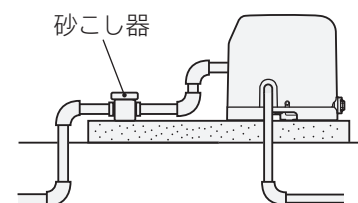
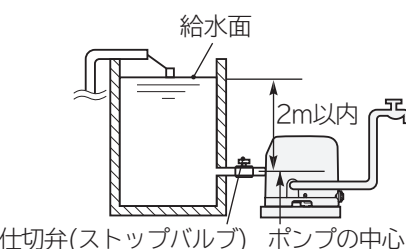
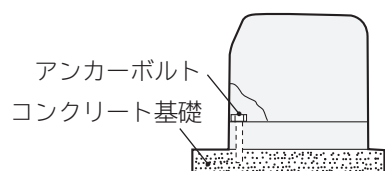
●ボイラーへの給水は、減圧弁を使用してボイラーに過大圧力が加わらないようにしてください。

ご注意 ポンプ吐出圧力は、「仕様」→(P.24)を参照してください。

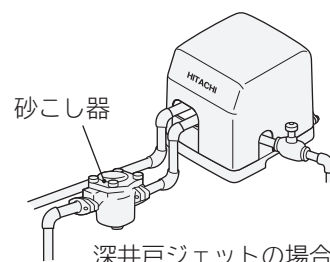
■組み合わせる別売りの標準ジェット、深井戸ジェットは、吸上高さに 適したものを使う

吸上高さとジェット部品(別売り)型式の関係

ポンプ 型 式	吸上高さ				
	標準ジェット (浅井戸配管)	標準ジェット (深井戸配管)	深井戸ジェット		
	～7m	7～12m	12～24m	24～30m	24～35m
CM-P250X	J25-7Y	J25-7Y	J25-24X	—	—
CM-P400X	J40-7Y	J40-7Y	J75-24X	J75-35X	—
CM-P600X	J75-7Y	J75-7Y	J75-24X	—	J75-35X
CM-K750X					



標準ジェット(浅井戸配管)の場合



深井戸ジェットの場合

配管工事について

ポンプと配管の接続

使用する配管口径

市販のバルブ用ソケットを用意して、下記配管口径の水道用硬質塩化ビニル管で接続してください。

ポンプ型式	吸込側							吐出側
	ジェット型式		必要井戸径	吸上高さ	配管口径			吐出管 配管口径
					吸込管	圧力管	配管質量目安※	
CM-P250X	標準ジェット	J25-7Y	—	～7m	25mm	—	～7kg	25mm
		J25-7Y	VP100以上 (100mm以上)	7～12m	30mm	25mm	18～31kg	
	深井戸ジェット	J25-24X		12～24m	30mm	30mm	31～62kg	
CM-P400X	標準ジェット	J40-7Y	—	～7m	30mm	—	～7kg	
		J40-7Y	VP100以上 (100mm以上)	7～12m	30mm	25mm	18～31kg	
	深井戸ジェット	J75-24X		12～24m	30mm	30mm	31～62kg	
	深井戸ジェット	J75-35X		24～30m	30mm	30mm	62～78kg	
CM-P600X CM-K750X	標準ジェット	J75-7Y	—	～7m	30mm	—	～7kg	
		J75-7Y	VP100以上 (100mm以上)	7～12m	30mm	25mm	18～31kg	
	深井戸ジェット	J75-24X		12～24m	30mm	30mm	31～62kg	
	深井戸ジェット	J75-35X		24～35m	30mm	30mm	62～90kg	

※配管全長が長くなるほど、質量は目安より大きくなります。

配管工事の際のお願い

警告



ポンプを水道管に直接配管しない

この取扱説明書のポンプを水道管に直接配管することは、法律で禁止されています。

ポンプ内に異物が混入しないよう吸込管にストレーナー(ジェット部品に付属)を取り付ける→(P.8)

配管の継ぎ目は空気の吸い込みや水漏れがないように行う
性能低下の原因になります。

配管工事の際、配管の中に切りくずや小石、接着剤が入らないようにする
ポンプの羽根車や逆止弁、ジェット部につまり、揚水不能の原因になります。

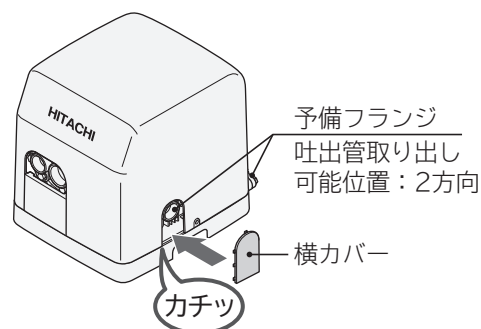
過大な力でフランジボルトを締め付けない
破損の原因になります。

水の抵抗を少なくするため、配管はできるだけ短く、曲げる箇所を少なくする
性能低下、揚水不能の原因になります。

吐出口には仕切弁(ストップバルブ)を取り付ける
点検・修理の際に必要です。

吐出口の位置を変えずに配管する場合は、横力バーを取り外す

吐出口の位置を変えるときは、吐出フランジ、予備フランジをボルトとともに交換し、横力バーを取り付ける



据え付け方法

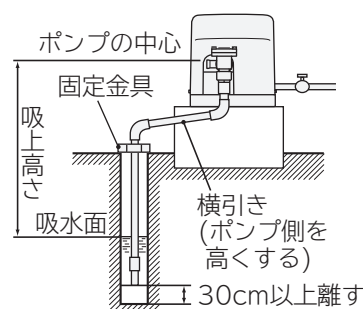
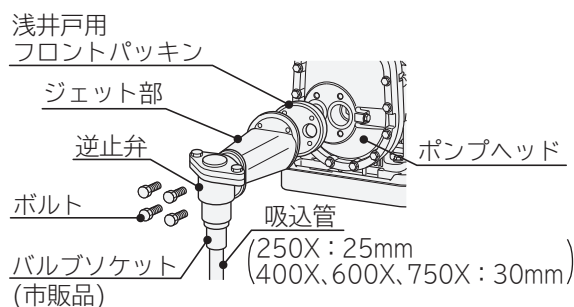
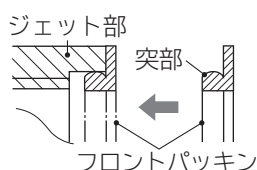
- 吸上高さが7m以内のときは、浅井戸ジェットで配管を行ってください。
- 吸上高さが7mを超えるとときは、深井戸ジェットで配管を行ってください。
- 標準ジェットの据え付け方法については、標準ジェットの取扱説明書(P.2～3)をご確認ください。

浅井戸ジェットのの場合

- 1 吸込管の先端にストレーナ(ジェット部分に付属)を取り付ける
- 2 ジェットにバルブソケット(市販品)をねじ込み、吸込管を接続する
- 3 固定金具(ジェット部品に付属)を取り付ける
(配管質量がポンプに加わらないようにする)
固定金具を取り付けないと、配管質量によりポンプが傾き、水平に設置できません。
- 4 ジェットをポンプに取り付ける

ご注意

水封性・作業性向上のため
フロントパッキン(ジェット
部品に付属)の突部をジェッ
ト部に圧入後、作業を行っ
てください。



深井戸ジェットのの場合

■ジェット部の接続

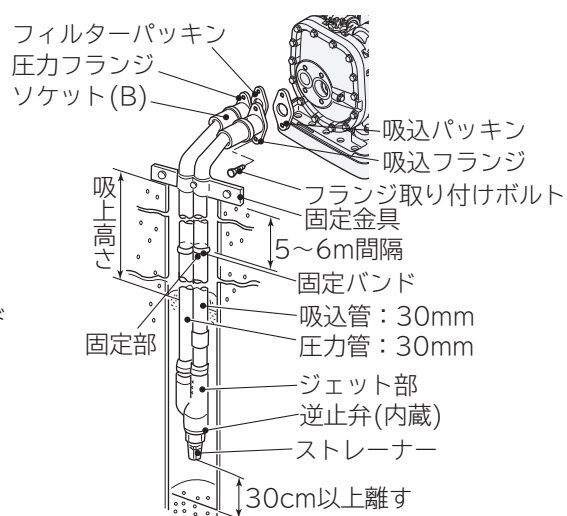
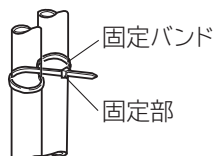
30mm水道用硬質塩化ビニル管によって配管します。

■固定金具の取り付け

ジェット部および配管質量がポンプに加わらないように
吸込管、圧力管をしっかり固定してください。
固定金具を取り付けないと、配管質量によりポンプが傾き、
水平に設置できません。

■固定バンドの取り付け

- 井戸の中に入る吸込管と圧力管の広がり
をなくすため、5～6m間隔で取り
付けてください。
- 固定バンドは8の字形に取り付けます。
井戸径が100mmの場合は、固定部が吸込管と圧力管の
間になるように取り付けます。

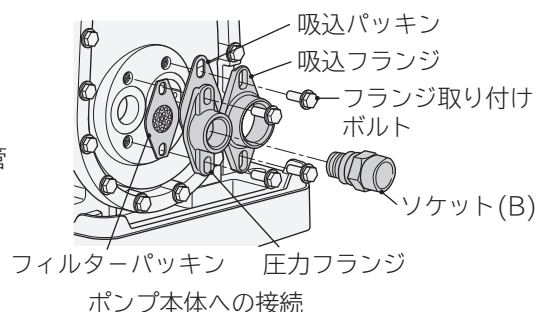
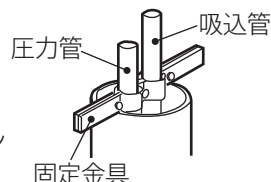


■ポンプ本体への接続

ポンプ本体付属の圧力フランジ、吸込フランジ、フィルター
パッキン、吸込パッキン、フランジ取り付けボルトとジェット部
品に付属のソケット(B)によって圧力管、吸込管を配管します。

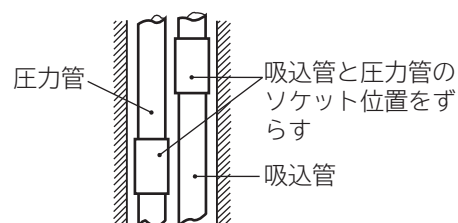
■吸込管と圧力管の見分け

配管に4mの定尺管を用いると吸込側は
圧力側より高くなります。これにより、
吸込側と圧力側を判断しポンプと接続し
ます。(逆になると揚水しません)



ご注意

- 井戸径が100mmの場合は、井戸へ挿入可能にする
ため、吸込管と圧力管のソケット位置をずらしてく
ださい。
- 吸込管と圧力管は同径です。ポンプ本体の吸込口、
圧力口への接続をまちがわないようにご注意ください。



配管工事について（続き）

配管の互換性について

従来ポンプ(W型以前)との配管互換性はありません。

付属のフランジおよび別売りのジェットを用いて、新たに配管工事を行ってください。

ジェットの互換性について

F型以降のジェットを使用することができますが、性能確保のため、X型ジェットへの交換をおすすめします。

W型以前の標準ジェットを浅井戸配管で使用した場合、吸上高さは6mまでとなります。

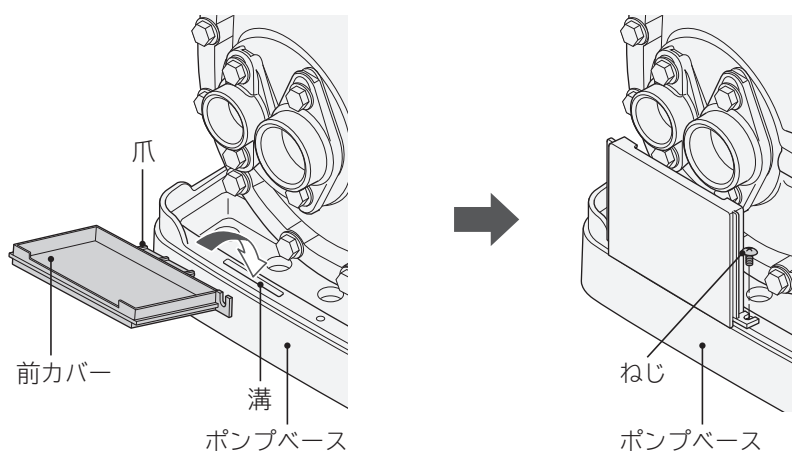
また、W型以前の標準ジェットを使用する場合は、下記サービス部品をお使いください。

据え付け方法	部品名	部品番号	使用数量	QRコード
浅井戸配管の場合	コティカナグブックミ	J25-7X 006	1	
深井戸配管の場合	コティカナグ(L)ブックミ	J25-24W 002	1	

前カバーの取り付けかた

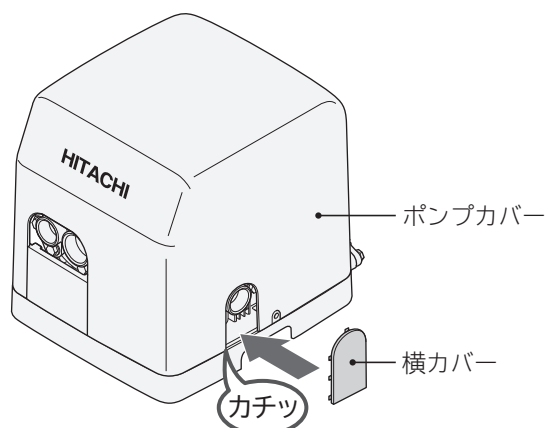
1 前カバーの爪をポンプベースの溝に差し込む

2 ポンプベースにねじで固定する



横カバーの取り付けかた

ポンプカバーに横カバーをカチッと音がするまで差し込みます。



配線工事について

⚠ 警告



●配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全に行う

誤った配線工事は、感電や火災の恐れがあります。

●単相100V用ポンプは定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独で使う

三相200V用ポンプは定格15A以上の電源ブレーカーを単独で使う



●テーブルタップによるタコ足配線はしない

発煙・発火の原因になります。

●ほかの電子機器などへ悪影響を与えないため、専用の配線にしてください。

●同一分岐回路に照明器具がありますと、ポンプの起動時、照明器具がちらつくことがあります。

●本製品はマイコンにて制御していますので、運転時の電圧が定格電圧の $\pm 10\%$ 以内になるよう（単相100V用ポンプ：90～110V、三相200V用ポンプ：180～220V）にしてください。

アース線の接続と漏電遮断器について

⚠ 警告



●アースを取り付け、専用の漏電遮断器を設置する

故障や漏電のときに感電する恐れがあります。

●漏電したときの感電事故を防ぐため、取り付けてください。（取り付けは有料です）

●アースおよび漏電遮断器に関する工事は、専門工事（電気工事士が行います）が必要です。

●工事の際は、電源プラグをコンセントから抜くか、ブレーカーを切った状態で接続してください。

アース線の接続について

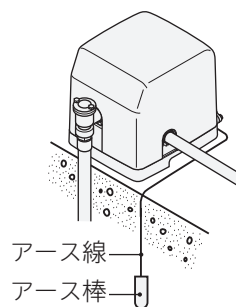
D種接地工事（第3種接地工事）をしてください。

既設のアース線があるときは、D種接地（第3種接地）を満足していることを確認してから接地してください。

ご注意 次のようなところには、アース線を接続しないでください。

（法令などで禁止）

ガス管、電話線、避雷針、水道管（水栓）



漏電遮断器について

●漏電遮断器は⚡マークのある感度電流15mA以下、動作時間0.1秒以下で、定格電流以上のものを電路に取り付けてください。

●既設の漏電遮断器があるときは、上記の確認をしてください。

電源電線について

●単相用ポンプのとき

専用のコンセントを設けて、電源プラグを差し込んでください。

やむをえず屋外にコンセントを設けるときは、防水形コンセントを使用してください。

●3相用ポンプのとき

電源側にはブレーカーを設け、ブレーカーの端子部に接続してください。

試運転

試運転のしかた

標準ジェット(浅井戸配管)を使用するとき

- 1 ホッパーキャップを外し、呼び水(約2L)を入れる
押込配管のときは、水源から急激に流れ込む場合がありますのでご注意ください。
- 2 ホッパーキャップをしっかりねじ込む
- 3 同時に使う水栓を開く
- 4 電源プラグをコンセントに差し込む
□□ →機種コード(例: 25c) →圧力が表示され、ポンプが運転を開始します。
- 5 運転開始後、揚水することを確認する
数分で揚水しない場合は、再び呼び水をしてください。

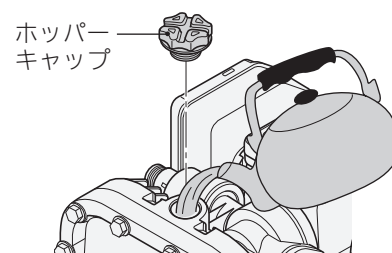
標準ジェット(深井戸配管)または深井戸ジェットを使用するとき

- 1 ホッパーキャップを外し、吸込管、圧力管、ポンプヘッド内に呼び水を十分に入れる
- 2 圧力計(市販品)を呼水口に取り付ける
- 3 コントロールバルブの調整ネジを、ネジ部が隠れる程度までねじ込む
- 4 同時に使う水栓を開く
- 5 電源プラグをコンセントに差し込む
□□ →機種コード(例: 25c) →圧力が表示され、ポンプが運転を開始します。
- 6 運転開始後、揚水することを確認する
数分で揚水しない場合は、再び呼び水をしてください。
- 7 調整ネジを緩め、下表の圧力調整値を目安に、音が静かになる位置に調整する
- 8 圧力計を外し、ホッパーキャップをしっかりねじ込む

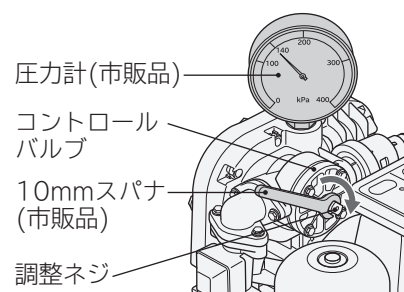
型 式	機種コード	深井戸ジェット使用時の圧力調整値
CM-P250X	25c	120~140kPa
CM-P400X	40c	180~200kPa
CM-P600X	60c	220~240kPa
CM-K750X	75c	250~270kPa

据え付け後、運転のはじめにホッパーキャップを外して呼び水を入れます。

- モーター、コントローラー、リアクトルなどの電気部品に水がかからないように注意してください。



- 数分で揚水しない場合は、再び呼び水をしてください。
標準ジェット使用時は、2~3分ごとに再び呼び水をすると、早く揚水します。



- ご注意**
- 空運転によるポンプの傷みを防ぐため、ポンプに呼び水をしない状態で運転しないでください。
 - 電源プラグをコンセントに差し込むと、ポンプは自動的に運転しますので注意してください。
 - 表示は約10分後に消灯します。→(P.3)

運転状態の確認

- 1 運転を開始したら水栓を開閉し、ポンプの運転状態や、漏水がないか確認する
- 2 水栓を閉じてポンプが停止することを確認する
ポンプの起動頻度を抑えるため、水栓を閉じた状態でもタイマーが働き、しばらく運転しますが、異常ではありません。
- 3 ポンプカバーをかぶせてねじ止める

ご注意 水栓を閉じたあと、凍結防止運転(**PH**)を開始する場合がありますが、異常ではありません。水栓を開いて、水を使用すると通常運転に戻ります。

運転のしかた

運転圧力について

工場出荷時は、運転圧力を「標準」に設定しています。
使用状態や用途に応じて運転圧力を切り替えることができます。→(P.16)
制御圧力(吐出圧力)は、下表の設定となっています。

ポンプ型式	運転圧力	吸上高さ		押上高さ	起動圧力	一定制御圧力
		標準ジェット使用時	深井戸ジェット使用時			
CM-P250X	「低」	～7m	～24m	9m	100kPa	150kPa
	「標準」(工場出荷時)			15m	160kPa	210kPa
	「高」	～2m	～18m	15m	200kPa	250kPa
CM-P400X	「低」	～7m	～30m	12m	130kPa	180kPa
	「標準」(工場出荷時)			18m	190kPa	240kPa
	「高」	～2m	～18m	18m	290kPa	340kPa
CM-P600X	「低」	～7m	～35m	12m	130kPa	180kPa
	「標準」(工場出荷時)			18m	190kPa	240kPa
	「高」	～2m	～18m	18m	290kPa	340kPa
CM-K750X	「低」	～7m	～35m	12m	130kPa	180kPa
	「標準」(工場出荷時)			21m	220kPa	270kPa
	「高」	～2m	～18m	21m	320kPa	370kPa

少水量使用時は、一定制御圧力と起動圧力の範囲で圧力変動する場合があります。

- ご注意**
- 標準ジェット(浅井戸配管)を用いて運転圧力「高」でご使用になる場合は、吸上高さ2m以内で使用してください。また、深井戸ジェットを用いて運転圧力「高」でご使用になる場合は、吸上高さ18m以内で使用してください。過負荷によるポンプの故障や寿命低下を防ぐためです。
負荷が高い場合は、運転圧力「標準」に自動で切り替わることがあります。
吸上高さ2m(深井戸ジェット時は18m)を超えて使用した場合、水栓を閉じてポンプが停止しない場合があります。
 - 吸上高さが3mより浅いとき、または押込揚程(2m以内)のときは、標準ジェットの中にあるバルブスプリング(線径：細)を標準ジェットに付属している押しばね(線径：太)と入れ替えてください。

運転のしかた(続き)

数値表示の切り替えかた

表示切替 を押し、希望の表示(● 圧力または● 水量)のランプを点灯させる



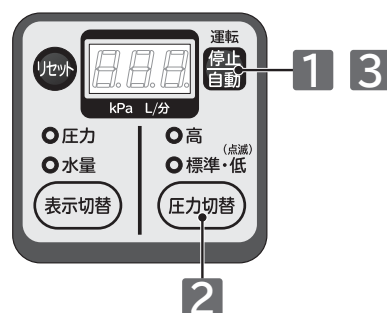
ご注意 各ボタン(**停止自動** **表示切替** **圧力切替**)を長押しすると、サービス機能(→(P.18)記載以外)を表示することがあります。
サービス機能が表示された場合は、 **リセット** を押ししてください。

運転圧力の切り替えかた

- 1** **停止自動** を押し、ポンプを **OFF** にする
- 2** **圧力切替** を押し、希望の圧力のランプを点灯させる
圧力切替 を押すごとにランプは切り替わります。

圧力	ランプの状態
高	● 高 (点灯)
標準	● 標準・低 (点滅) (点灯)
低	● 標準・低 (点滅) (点滅)

- 3** **停止自動** を押す



ご注意 各ボタン(**停止自動** **表示切替** **圧力切替**)を長押しすると、サービス機能(→(P.19)記載以外)を表示することがあります。
サービス機能が表示された場合は、 **リセット** を押ししてください。

除菌器の接続について

- ご注意**
- 他社除菌器とは結線できません。ポンプコントローラー故障の原因になります。
 - 日立除菌器を下記のサービス部品で結線する場合は、1台としてください。
複数台接続すると、ポンプコントローラーの許容電流(2A)を超え、ポンプコントローラー故障の原因になります。

除菌器はポンプの運転状態に応じて間欠運転をします。

結線について

除菌器を接続する際は、除菌器の型式に応じて下記サービス部品を購入してください。
部品の詳細はサービス部品の説明書、価格はQRコードを読み込んでご確認ください。

	組み合わせ除菌器			
	CS-20J1以前	CS-20NS	CS-30S、CS-30S2、CS-30V、 CS-30V2、CS-130W、CS-230W、 CS-130X、CS-230X	
部 品 名	セツゾクコネクタ(CS)	サービス部品不要	配管接続の場合	ポンプで制御する場合
部品番号	CS-20J1 002		サービス部品不要	テイソクウンテンハーネス CS-30S 021
QRコード		—	—	

カルキ量の調整について

除菌器接続後はカルキ量の調整を再度行ってください。
(カルキ量の調整方法は、除菌器の取扱説明書をご覧ください)

防寒について

暖かい地方でも冬期には寒波急襲によって、ポンプや配管が凍結し破損することがあるため、凍結防止策を行ってください。

※凍結による破損事故については責任を負えません。

⚠ 警告



ポンプに毛布や布などをかぶせたり、ポンプカバー内に燃えやすい物を入れない
過熱して発火することがあります。

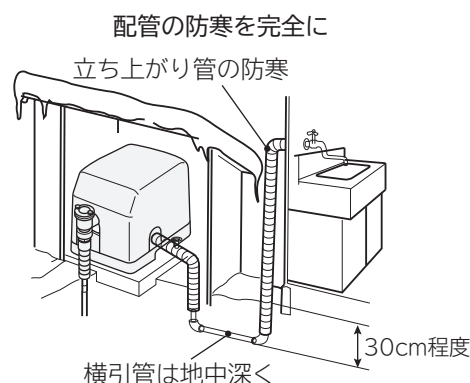
凍結防止策

配管

- 横引部分……地中に埋めてください。
- 地上の露出部分……保温材を使用してください。
寒冷地では市販の水道凍結防止帯をご利用ください。

ポンプ

屋外に据え付けるときは、ポンプ小屋を作ってください。
小屋は夏に換気ができるようにしてください。



凍結防止運転

- 周囲の温度が約3℃以下になると自動的にポンプを運転させ、ポンプヘッドの凍結を防止します。
凍結防止運転中に水を使用すると、通常運転に戻ります。
- 凍結防止の効果は周囲温度が約-5℃までが目安です。
- 凍結防止運転中は **PH** と表示します。→(P.19)

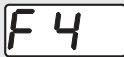
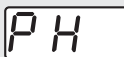
お困りのときは

修理を依頼される前に

次の点をもう一度お調べください

操作コントローラーにこんな表示が出たら

お知らせ表示と内容（販売店、工事店へ連絡し、お客様は処置しないでください）

お知らせ表示	お知らせ内容		確認するところ
	空運転	井戸の水位低下や吸込管の水落ちにより、空運転が続いた場合に表示し、ポンプが停止します。	井戸の水位や逆止弁の異物詰まり、吸込管の水落ちを確認してください。
	受水槽断水	上水道の断水などにより、受水槽内が空になった場合に表示し、ポンプが停止します。	●断水の原因を確認してください。 ●青コネクタは差し込まれていますか。
	欠相 (CM-K750Xのみ)	電源の1線が断線した場合に表示し、ポンプが停止します。	●電源コネクタの差し込みや電源線断線などを確認してください。 ●青コネクタは差し込まれていますか。
	ポンプヘッド 過昇温	空運転や漏水などでポンプヘッドが異常に高温となった場合に表示し、ポンプが停止します。 (約40℃まで温度が下がると自動復帰します)	●井戸の水位低下や逆止弁の異物詰まり、吸込管の水落ちを確認してください。 ●ポンプや配管からの漏水がないか確認してください。 ●毛布や断熱材でポンプを覆うなどの過剰な防寒をしていませんか。 ●設置場所が高温になっていませんか。 ●羽根車やジェット部に異物詰まりがないか確認してください。
	不足電圧	異常に低い電源電圧が印加された場合に表示し、ポンプが停止します。	●電源コードを延長していませんか。 ●同じコンセントにほかの機器を接続していませんか。
	過電流 または モーターロック	砂かじりなどによって羽根車がロックし、異常な電流が流れたときに表示し、ポンプが停止します。	ケーシング内の異物除去や羽根車などの固着がないか確認してください。
	圧力センサー 断線	圧力センサーからの信号が入らない場合に表示し、ポンプが停止します。	圧力センサーのコネクタは差し込まれていますか。
	サーミスター 断線	サーミスターからの信号が入らない場合に表示し、ポンプが停止します。	サーミスターのコネクタは差し込まれていますか。
	欠相 (CM-K750Xのみ)	電源の1線が断線した場合に表示し、ポンプが停止します。	●電源コネクタの差し込みや電源線断線などを確認してください。 ●青コネクタは差し込まれていますか。
	高圧力	ポンプ内圧が500kPa以上の場合に表示しますが、異常ではありません。	水道管直結や圧力タンクのガス抜けを確認してください。また、水栓の急閉により表示する場合があります。 ※この取扱説明書のポンプを水道管に直接配管することは、法律で禁止されています。
	凍結防止運転	周囲の温度が約3℃以下になると自動的にポンプを運転させ、ポンプヘッドの凍結を防止します。凍結防止運転中に水を使用しますと、通常運転に戻ります。	—
	コントローラー 過昇温	コントローラー内が異常に高温となった場合に表示し、ポンプが停止します。	●モーターとコントローラーの間に取扱説明書などのほさみ込みがないか確認してください。 ●毛布や断熱材でポンプを覆うなどの過剰な防寒をしていませんか。

お困りのときは（続き）

症 状	確認するところ	直しかた
ポンプが回らない	電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。	電源プラグを差し込んでください。
	ブレーカー、漏電遮断器が切れていませんか。	ブレーカー、漏電遮断器を確認してください。
	お知らせ表示が出ていませんか。→(P.19)	お買い上げの販売店または工事店へご連絡ください。
ポンプが止まらない	水栓、配管から漏水していませんか。→(P.21) (漏水チェック機能でポンプ停止→圧力低下)	配管を修理してください。
	ジェット内部のノズルが、ゴミ詰まりしていませんか。→(P.21) (漏水チェック機能でOFF圧力まで上がらない)	ジェット部を分解して、内部をよく掃除してください。
	水位が低下していませんか。	水位を確認してください。 規定の吸上高さより深い場合は、機種を変更してください。
	 表示が出ていませんか。	凍結防止運転を行っている ので、異常ではありません。
使用していないのに ポンプが起動する	漏水チェック機能で、配管の漏水を確認してください。→(P.21)	配管を修理してください。
モーターは回るが揚水 しない	水位、配管の長さを確認してください。	配管を修理、または吸上げに 余裕がある場合は、吸込管を 延長する。
	吸込管から空気を吸い込んでいませんか。 吸込管の各つなぎ目部を点検・確認してください。	配管を修理してください。
吐出圧力表示・お知らせ 表示が点灯しない	 [ドット] 表示になっていませんか。	消費電力を抑えるため表示は 約10分後に消灯しますので、 異常ではありません。→(P.3)

漏水を確認するときは

- 1  を押して **OFF** にする
- 2 水栓を開き、水栓から水が出なくなったのを確認後、水栓を閉じる
- 3 **OFF** 表示している状態で、 を押し続ける

ポンプが強制運転を開始します。

圧力が強制運転停止圧力値以上に上昇して、ポンプが自動停止するまで  を押し続けます。

吸上高さによっては強制運転停止圧力値まで上昇しない場合があります。

圧力値が上昇しなくなったら、 を離してください。

型 式	運転圧力	強制運転停止圧力
CM-P250X	「低」	約330kPa
	「標準」(工場出荷時)	
	「高」	
CM-P400X CM-P600X	「低」	約400kPa
	「標準」(工場出荷時)	
	「高」	
CM-K750X	「低」	約450kPa
	「標準」(工場出荷時)	
	「高」	

※ **3** の状態(ポンプ停止)で、圧力値が低下する場合は、漏水がないか確認してください。

保証とアフターサービス

保証書(別添)

保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。なお、食品や動植物の補償など、製品修理以外の責はご容赦ください。保証期間内でも次の場合には原則として有料修理にさせていただきます。

- (イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障および損傷。
- (ロ) お買い上げ後の取付場所の移動、落下、輸送などによる故障および損傷。
- (ハ) 火災、地震、風水害、落雷、そのほか天災地変、塩害、公害、ガス害（硫化ガスなど）や異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）による故障および損傷。
- (ニ) 一般家庭用以外《例えば業務用などへの長時間使用および車両（車載用を除く）、船舶への搭載》に使用された場合の故障および損傷。

保証期間：お買い上げの日から1年です。

補修用性能部品の保有期間

ポンプの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または「ご相談窓口」→(P.23)にお問い合わせください。

転居されるとき

ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。
ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。
電源周波数の異なる地区へのご転居に際しても部品の交換は不要です。

修理を依頼されるときは

出張修理

19、20ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し、電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、修理させていただきます。
※修理点検でポンプ以外に原因があった場合は、保証期間内でも有料になることがあります。

保証期間が過ぎているときは

修理して使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品 名	浅深両用ポンプ
型 式	シーエム ビー エックス CM-P250Xなど
製 品 番 号	1000001など
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご 住 所	付近の目印なども併せてお知らせください。
お 名 前	
電 話 番 号	
訪問ご希望日	

修理料金の仕組み

修理料金＝技術料＋部品代＋出張料などで構成されています。

技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。
部品代	修理に使用した部品代金です。そのほか修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

愛情点検

長年ご使用のポンプの点検を！〔2～3年に一度点検を依頼してください(有料)〕



ご使用の際、
このような
症状はあり
ませんか？

- 運転するとブレーカーや漏電遮断器が作動する。
- ポンプは運転するが、水栓を開いても水が出ない。
- 水を使用していないのに、ポンプが運転する。
- コード類に“ひび割れ”や“傷”がある。
- 運転中に異常な音や振動がする。
- 水漏れがする。(ポンプヘッド部、圧力タンク、継ぎ手など)
- 焦げ臭い“におい”がする。
- 触るとビリビリと電気を感じる。
- その他の異常がある。

ご使用中
止

このような症状のときは、故障や事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜くか、ブレーカーを切ってから販売店に点検・修理をご相談ください。

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈り物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。
※下記窓口の内容は、予告なく変更させていただく場合がございます。

商品情報やお取り扱いについてのご相談窓口

TEL 0120-3121-19
携帯電話 050-3155-0119 (有料)
FAX 0120-3121-34

(受付時間) 9:00～17:30 (月～土)
日曜・祝日と年末年始・夏季休暇など弊社の休日は休ませていただきます。

修理に関するご相談窓口

TEL 0120-3121-68
携帯電話 0570-0031-68 (有料)
FAX 0120-3121-87

(受付時間) 9:00～18:00 (月～土)
9:00～17:00 (日・祝日)

出張修理のご用命はインターネットからもお申込みいただけます。

スマートフォンやタブレットから

- ①コードを読み取る ② **出張修理のWeb 受付** ボタンから入力画面へ ③製品型式など必要情報を入力



コードが読み取れない場合やパソコンからは

検索からアクセス **日立家電修理 WEB** **検索** <https://kadenfan.hitachi.co.jp/support/inquiry/repair/web.html>

- 「部品購入」については、上記サービス窓口にて各地区のサービスセンターをご紹介します。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

仕様

この製品は日本国内用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。
また、アフターサービスもできません。

浅深両用インバータポンプ

型 式		CM-P250X			CM-P400X		
相 ・ 定 格 電 圧		単相100V					
モ ー タ ー 定 格 出 力		250W			400W		
定 格 消 費 電 力		470W			680W		
定 格 周 波 数		50-60Hz					
制 御 方 式		インバーター制御					
運 転 圧 力		低	標準	高	低	標準	高
圧 力	起 動 圧 力	100kPa	160kPa	200kPa	130kPa	190kPa	290kPa
	一 定 制 御 圧 力	150kPa	210kPa	250kPa	180kPa	240kPa	340kPa
押 上 高 さ		9m	15m		12m	18m	
停 止 水 量		4L/分					
ジェット(別売品)組み合わせ		J25-7Y		J25-24X	J40-7Y		J75-24X J75-35X
吸 上 高 さ(※)		7m	12m	24m	7m	12m	24m 30m
揚 水 量		35L/分	28L/分	11L/分	46L/分	40L/分	18L/分 12L/分
全 揚 程		12m	22m	38m	12m	21m	41m 47m
配 管 口 径 (※)	吸 込 管	25mm	30mm				
	圧 力 管	－	25m	30mm	－	25m	30mm
	吐 出 管	25mm					
質 量		12kg			14kg		

※吸上高さおよび配管口径は、組み合わせるジェット(別売り)により異なります。詳細は→(P.10)をご参照ください。

型 式		CM-P600X			CM-K750X				
相 ・ 定 格 電 圧		単相100V			3相200V				
モ ー タ ー 定 格 出 力		600W			750W				
定 格 消 費 電 力		950W			980W				
定 格 周 波 数		50-60Hz							
制 御 方 式		インバーター制御							
運 転 圧 力		低	標準	高	低	標準	高		
圧 力	起 動 圧 力	130kPa	190kPa	290kPa	130kPa	220kPa	320kPa		
	一 定 制 御 圧 力	180kPa	240kPa	340kPa	180kPa	270kPa	370kPa		
押 上 高 さ		12m	18m		12m	21m			
停 止 水 量		4L/分							
ジェット(別売品)組み合わせ		J75-7Y		J75-24X	J75-35X	J75-7Y		J75-24X	J75-35X
吸 上 高 さ(※)		7m	12m	24m	35m	7m	12m	24m	35m
揚 水 量		52L/分	46L/分	24L/分	12L/分	58L/分	50L/分	30L/分	15L/分
全 揚 程		12m	24m	41m	52m	12m	24m	44m	55m
配 管 口 径 (※)	吸 込 管	30mm							
	圧 力 管	－	25m	30mm		－	25m	30mm	
	吐 出 管	25mm							
質 量		14kg							

※吸上高さおよび配管口径は、組み合わせるジェット(別売り)により異なります。詳細は→(P.10)をご参照ください。

お客様メモ

後日のために記入しておいてください。サービスを依頼されるとき、お役に立ちます。

ご購入店名

電話

ご購入年月日

年

月

日

日立グローバルライフソリューションズ株式会社

〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12
電話 (03) 3502-2111